

5人の議員より一般質問が行われました。 その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

町ホームページトップ → 町議会 → 会議録



村川 毅 議員

食育推進計画の作成について

今日の議論を通じて
今後庁内で検討する

村川 国は、食育に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため、平成17年6月に「食育基本法」を策定、北海道では平成26年3月に「ごさんこ食育推進プラン」を作成し、道内の食育を総合的に進めることとしている。計画を作成した市町村は、国の助成を受けて事業の実施もできる。

町においても国や道と連携しながら、町民の理解のもと役割分担を行い、より効果的な食育の取り組みを推進するため「長万部町食育推進計画」を作成すべきと思うが、町長の所見を伺う。

町長 食育の推進は、保健・産業・教育・環境

など幅広い分野にわたり、地域性も高いことから、これらの各分野を総合した町の推進計画は必要と考えている。

食と密接な関わりがある健康と併せ、平成29年度末策定予定の「長万部町健康づくり計画（仮称）」に食育推進計画を盛り込んで策定する。

村川 健康づくり計画ももちろん大事だが、そもそも健康づくり計画は主に生活習慣病予防の計画で、食育計画は地産地消と一体となった食育の推進を含む計画である。

町の第3次総合計画でも、安全・安心で信頼される食料の供給と、食育や地産地消などによる地

域農業、農産物への理解が不可欠であり、地域のブランド化を推進する必要があると謳っている。

食生活に関しては、世代に関係なく安全・安心でより安価なものを多くの人が望んでいる。当町でも、長年畑作組合が開催している土曜市、これもみな期待して楽しみにしているものだが、この地場産品を、価格面の折り合いがつかないのか知らないが、学校給食や東京理科大学の給食などではなかなか口にすることが出来ない状況にあると思う。だから、食育計画の中できちんと産業団体や生産者の方を含んだ協議会を作り、町の地場産品をはじめ町で加工された食品を口に出来る体制を整備する必要があるから食育基本計画はやはり必要だと思うが。

副町長 食育推進基本計画は作らないというこ



あつまんべの土曜市

とではなく、健康増進法に基づく、健康づくり計画の1パーツとして作るということである。食と健康づくりは非常に密接な関係にあり、きちんと連携した計画を作る。

村川 せっかく道から農政部出身の参事が見えているのだから、食育計画の中心になってもらい、地域おこし協力隊員とも連携しながら、安全・安心な食生活を目指す計画を作っていたきたい。

町長 今日の議論を通じて、今後庁内でどういう計画にするか検討する。